

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 鈴鹿市	対談項目1 防災分野における男女共同参画の推進について		(1)男女共同参画の視点を入れた避難所運営マニュアル作成の推進 ・多様なニーズに配慮した避難所運営を目指して	三重県の地域防災総合事務所や防災技術専門員を派遣して出前トーク等を行い、地域への普及を行っている。また地域減災力・強化推進補助金を活用し、財政支援、実施支援を行っているのご活用いただきたい。 市町も頑張るが、地域に密着した運営を地域の皆さんに考えていただきたいので、よろしくお願ひしたい。
2 鈴鹿市	対談項目1 防災分野における男女共同参画の推進について		(1)男女共同参画の視点を入れた避難所運営マニュアル作成の推進 ・地域住民の協働による自主的な運営について	三重県男女共同参画センターにおいては平成24年度から防災を切り口として地域リーダー養成講座を開催し、平成25年度は「男女共同参画の視点での避難所運営」について考える内容で、避難所運営をシミュレーションしている。その結果を「男女共同参画の視点からの災害発生時における施設職員対応モデルおよび施設避難所活用モデル」としてとりまとめたので、鈴鹿市でも活用できるのではないかと思う。平成26年度も男女共同参画の視点から講座を開催し自治会や自主防災組織で活動される方が多数参加されている。 男女両方の地域のリーダーを養成していくことを市町と連携して取り組んでいきたい。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 鈴鹿市	対談項目1 防災分野における男女共同参画の推進について (2)女性に視点を置いた防災拠点としての男女共同参画センターの活用について		県内5つの男女共同参画センターを、防災分野における男女共同参画を推進する拠点として位置づけてはどうか。また、役割として、地域に開設された避難所への助言や、一般的な避難所では受け入れが難しいケースの対応など、男女共同参画センターが核となり、連携できるような体制づくりができればと構想しているが、いかがか。	連携をして男女共同参画センターを拠点にしていくのは重要なことと考えているが、まずは平時においてどういう連携、情報交換、レベルアップができるのかをしていきたい。 センター自体を避難所にするよりは、センターのおかれている状況によるが、様々な地域にある避難所の支援や難しいソフトの対策、相談窓口、センターがない地域への支援などをご検討いただくのがいいかと思う。 丁寧にきめ細やかに対応していくソフト的なセンターになるのがいいかと思う。
4 鈴鹿市	対談項目2 障がい者の就労のあり方・障がい理解について 障がい者の雇用率について		障がい者の雇用率については非常に厳しい状況にあり、民間企業の法定雇用率が2.0%だが、三重県は1.6%、鈴鹿管内は1.83%である。障がい者の雇用率があがるよう行政として取組を行いたい。	実雇用率を上げることが目標ではないが、一つの指標ではあるので、結果として数値をあげるために、障がい者の雇用を進めていかなければならないと考えている。 昨年は11月の障がい者雇用率の公表の際に、三重労働局長と連名で、1.6%から1.7%になるようプランを公表した。私もまだ雇用率を達成していない企業を訪問したりして改善に努めている。 また、三重県障がい者雇用推進協議会という有識者会議を立ち上げて、障がい者の雇用を応援する。これには鈴鹿市長にも市長会の代表として委員へのご就任をお願いしているところ。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
5 鈴鹿市	対談項目2 障がい者の就労のあり方・障がい理解について	就労マルシェ及びステップアップカフェについて	<p>障がい者の方が一般企業へ就職すること、また福祉事業所のモノ・サービスを活用していただくことを目的に鈴鹿市ではハローワーク鈴鹿、関係機関と「就労マルシェ」を平成25年度から実施している。三重県が今年度から実施するステップアップカフェについて、色々と取り組まれる中で、障がい者の就労への良い波及効果を期待する。また、市内の障がい者の福祉事業所やその製品などのPRもぜひ行っていただきたい。</p>	<p>鈴鹿市のような地域独自の取組をしているところほど、障がい者雇用率は高くなっており、県内では鈴鹿市、松阪市、伊勢市の順に高い。</p> <p>ステップアップカフェCotti菜については、12月24日にオープンし、鈴鹿市でも実績のある社会福祉法人朋友にさせていただく。</p> <p>カフェ事業では、障がい者の方はよくバックヤードで作業されることがあるが、Cotti菜ではフロントや接客を伴う販売もさせていただく。</p> <p>他にはブラッシュアップ事業で、県内のデザイナー等が県内の小規模作業所で作っているものをアドバイスしたり、コーディネート事業では障がい理解が足りないことについてイベントをしたり、就職面接会をしたりする。</p> <p>多くの皆様に来ていただけるとありがたい。</p>
6 鈴鹿市	対談項目2 障がい者の就労のあり方・障がい理解について	社会的事業所について	<p>三重県が進めた社会的事業所が鈴鹿市で7月に開設された。障がい者の安定雇用につながるためには、この事業所のサービス利用により、適正な運営が行われることが必要。障害者優先調達推進法に基づく方針により、三重県でもこの事業所のサービスの利用を進めていただきたい。</p>	<p>社会的事業所は、障がいのある人もない人も対等な立場で、一般就労でも作業所でもない雇用になる。今回は鈴鹿、尾鷲、亀山で開設した。</p> <p>鈴鹿市でもしていただいているように、三重県でも調達方針に取り入れて応援していきたいと考えている。</p> <p>鈴鹿市におかれても是非県内をリードしていただきたい。</p>